

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

島根*創生
SHIMANE SOUSEI



2020年
10・11月

(島根県道づくり調整会議)

道づくりだより 第149号

島根の
『つなぐ道プラン 2020』
ROAD PLAN 2020 CONNECTING SHIMANE

このたび策定しました!!



- Contents -

1. 「島根の『つなぐ道プラン 2020』」策定!! (道路建設課)
2. 一般県道 波佐匹見線 (匹見工区) が開通しました!! (道路建設課)
3. 広域基幹林道「匹見美都線」の工事着手 (益田県土整備事務所 治山・林道課)
4. 道路交通情報 Now!!が新しくなります (公財 日本道路交通情報センター)
5. 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会 2020
つなげよう!全県民の願い 山陰道 (高速道路推進課)
6. 道路愛護等に努めた方々が表彰されました (道路維持課)

このたび策定しました!!

島根の

『つなぐ道プラン 2020』
ROAD PLAN 2020 CONNECTING SHIMANE

島根県では、道づくりの目指すべき方向性を明確にするため、平成15年1月に「しまねの新たな道づくりビジョン」を策定し、これまで、重点的・効率的・効果的な道路整備を進めており、その成果は着実に現れています。

しかし、県内の道路整備は未だ十分とは言えない状況であり、また、道路を取り巻く社会情勢も大きく変化し、新たな課題への対応も必要となっています。

このような状況も踏まえ、今後10年間における道路事業の進め方を示した「島根の『つなぐ道プラン2020』」を策定しました。

● 基本理念

『地域』をつなぎ、『ひと』をつなぎ、『いのち』をつなぎ、
未来につなぐしまねの道づくり

● 道づくりの観点

優先度や整備期間を考慮しながら、
整備箇所の選択と
予算の集中を徹底し、
早期に効果を発揮させます。

急速に進行する老朽化への対策や、
相次ぐ自然災害から命を守る
防災・安全対策への
投資割合を高めます。

既存の施設を有効活用し、
最小限の投資で最大の効果を
生み出します。

● 取り組みテーマ

本県の目指す将来像の実現に向け、基本理念や3つの観点のもと、5つのテーマ・9つの施策に取り組んでいきます。

テーマ1 県土の活力向上と経済発展につながる高速道づくり

- 施策 1-1. 高速道路ネットワークの早期整備
施策 1-2. 安全・快適に走行できる高速道路の整備

テーマ2 地域の魅力・活力を高める道づくり

- 施策 2-1. 高速道路と一体となり県土を支える骨格幹線道路ネットワークの整備
施策 2-2. 住みよく、魅力あふれる地域づくりを支援する道路の整備

テーマ3 災害に強く、安心な地域を支える道づくり

- 施策 3-1. 落石や斜面崩壊に対する道路防災対策の推進
施策 3-2. 災害時に人・物資の輸送を安全に行うための道路防災対策の推進

テーマ4 地域を支えるインフラを未来につなぐ道づくり

- 施策 4-1. インフラ老朽化対策の推進
施策 4-2. 道路の日常的な維持管理の充実と効率化

テーマ5 歩行者・自転車等の安全性を高める道づくり

- 施策 5-1. 交通安全対策の推進

ROAD PLAN 2020 CONNECTING SHIMANE

テーマ1 県土の活力向上と経済発展につながる高速道づくり

人やモノの流れが拡大し、活力ある産業活動が展開され活性化する地域を目指します

施策 1-1 高速道路ネットワークの早期整備

・山陰道の早期全線開通に向け、国に強く働きかけるとともに、積極的に国に協力し、円滑な整備促進を図ります



施策 1-2 安全・快適に走行できる高速道路の整備

・「高速道路における安全・安心基本計画(R1.9.10 国土交通省)」に位置付けられた優先整備区間の4車線化など、安全性、信頼性向上のための効果的な対策が早期に推進されるよう、国等に強く働きかけます



既に4車線化されている国道9号松江道路

テーマ2 地域の魅力・活力を高める道づくり

訪れやすく、暮らしやすい島根の実現を目指します

施策 2-1 高速道路と一体となり県土を支える骨格幹線道路ネットワークの整備

・高速道路の整備効果を早期に全県に波及させ、災害時などの輸送路として重要な役割を担う道路を『骨格幹線道路』に位置づけ、優先的に整備します



施策 2-2 住みよく、魅力あふれる地域づくりを支援する道路の整備

・効率的・効果的に誰もが安全・快適に利用できる道路空間を構築します
 ・コンパクトなまちづくりや、魅力あるまちづくりと連携しながら進めます
 ・多様な方々にとって、魅力的で多機能な拠点となる道の駅や、目的地までスムーズに移動できる、わかりやすい案内表示の整備を進めます



(都) 神門通り線(出雲市)

テーマ3 災害に強く、安心な地域を支える道づくり

頻発化・激甚化する自然災害に備え、県民がいつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指します

施策 3-1 落石や斜面崩落に対する道路防災対策の推進

- ・道路斜面からの落石や道路法面の崩落等を未然に防ぐため、斜面の監視を強化します
- ・道路利用者から落石等の異常に関する情報を広く得られるよう、通報アプリケーション「パトレボしまね」を推進します
- ・必要性・緊急性に応じて計画的に対策を講じます



パトレボしまね



落石防護網



落石防護柵

施策 3-2 災害時に人・物資の輸送を安全に行うための道路防災対策の推進

- ・地震時の安全な通行を確保するため、主要路線にある橋梁の耐震対策を進めます
- ・強風や地震時における電柱倒壊による通行不能を避けるため、無電柱化を進めます



(主) 松江島又保間線 小女良橋 (松江市)



テーマ4 地域を支えるインフラを未来につなぐ道づくり

地域・ひと・いのちを支える社会インフラを、良好な状態で将来に引き継ぐ必要があります

施策 4-1 インフラ老朽化対策の推進

- ・橋梁・トンネル等の道路施設について、定期的な点検と早期修繕に努め、維持管理費用の縮減と長寿命化を図ります



橋梁 鋼桁の可塗装



トンネル点検

診断の区分		状態
区分(健全度)	状態	状態
I 健全	機能に支障が生じていない状態	
II 予防保全	経過観察することが望ましい状態	
III 早期措置	早期に措置を講ずべき状態	
IV 緊急措置	緊急に措置を講ずべき状態	

施策 4-2 道路の日常的な維持管理の充実と効率化

- ・日々の道路パトロール等による異常の早期発見・措置や、路面清掃、除草、除雪等を行い、良好な道路環境の保全に努めます
- ・除雪作業の効率化を図るため、異なる道路管理者間において、除雪機械の相互乗り入れを行います

● 道路パトロール



● 除草



● 除雪



● 路面清掃



ROAD PLAN 2020 CONNECTING SHIMANE

テーマ5 歩行者・自転車等の安全性を高める道づくり

日常生活における事故から県民を守り、安全・安心な暮らしの確保を目指します

施策 5-1 交通安全対策の実施

- ・歩行者や自転車利用者の安全な通行空間を確保するため、必要な対策を講じます
- ・既設の歩道や交差点部に対し防護柵の設置やカラー舗装など、既存の道路空間を有効活用し、早期に効果を発現できる手法も検討します
- ・通学路・駅・公共施設周辺のコミュニティ道路や一定の交通量がある区間を優先して整備することとし、関係機関と連携しながら対策を進めます

● 歩道の整備



(都)城山北公園線(松江市)

● 歩車共存道の整備



(一)池田中町線(隠岐の島町)

● 関係機関との連携



● 防護柵設置



国道431号(出雲市)

● カラー舗装



(主)斐川一畑大社線(出雲市)



通学路の連絡会議(上)、合同点検(下)の様子

◎ 目指す 10 年後の姿

	指標名	現状(R1) ^{※1}	目標(R6)	目標(R11)
テーマ1	山陰道の供用率	67%	78%	90% ^{※2}
テーマ2	骨格幹線道路の改良率 ^{※3}	96%	97%	100%
	幹線道路・生活関連道路(優先整備区間)の改良率 ^{※3 ※4}	77%	79%	82%
テーマ3	緊急輸送道路の落石等通行危険箇所整備率	3%	49%	100%
	緊急輸送道路の橋梁耐震化率	62%	85%	100%
テーマ4	定期点検により、診断の区分を健全度Ⅲとした橋梁の修繕率	13%	100%	100%
	道路管理瑕疵(穴ぼこ)による事故発生件数	8件	0件	0件
テーマ5	通学路交通安全プログラムの歩道整備箇所(H31.3.31時点)の整備率	—	50%	100%

※1：年度当初の実績値(道路管理瑕疵(穴ぼこ)による事故発生件数はH30年度の実績値)

※2：目標(R11)時点において未供用と想定している区間(浅利～江津、久城～高津、須子～県境)

※3：改良率とは、対象となる道路のうち車道幅員5.5m(2車線)以上の割合

※4：1.5車線の改良済み区間を含む

ROAD PLAN 2020 CONNECTING SHIMANE

道づくりへの取り組み姿勢

1 創意工夫により、効果的な道づくりを進めます

- **道路改良の場合** ・道路の目的や地域特性に応じ、様々な整備手法を組み合わせることにより、効率的・効果的な道路整備に取り組みます



- **落石対策の場合** ・「段階施工」により落石頻度の高い30cm未満の発生源を優先的に対策し、県全体の安定度を早期に底上げします

- **橋梁点検の場合** ・職員の技術力向上に繋げるため、職員自らで橋梁点検を実施します

2 よりオープンな道路行政を進めます

- **道づくりに関する広報活動** ・道路の開通予定や、災害・通行止めに関する情報発信のほか、道路整備の必要性・整備による効果のPRなど、広報の充実を図っていきます
- **官民一体となった広報活動** ・インフラを活用した地域振興や、SNSを通じた情報発信などに取り組みます
- **地元住民等との協働による道路計画の検討** ・地元住民や沿線事業者等と合意形成を図りながら進めます
- **行政と地域の協働による保全活動** ・地域による活動への支援や、行政と地域による協働を推進します

● 広報パンフレットの発行



● 行政と地域の協働による保全活動



3 道づくりに携わる人づくりを進めます

- **人材の確保・育成** ・道づくりに対するやりがいや興味を持ってもらうため、体験学習や就職説明会などに取り組み、今後を担う人材の確保・育成を推進します
- **魅力ある建設現場の創出** ・ICT建機の活用など、生産性が高く魅力ある建設現場を目指す取り組みを推進します

● 中学生の一日体験入学



4 新たな技術の利活用に取り組みます

・維持管理の効率化や、中山間地域における交通・物流確保など地域課題の解決に向け、ICTやAIなど新たな技術の利活用を検討します

● 定期点検の効率化の例



落石源にセンサーを取り付け、さらに定点カメラを設置し、石の挙動データを収集→回収する手法を検討しています。実現すれば、点検の省力化や定量的な診断等の効果が期待されます。

● 維持管理の効率化の例



道路パトロールの記録や日報作成を自動化するスマートフォンアプリなどにより、現場やパトロール後の作業負担を軽減し、効率的な巡回が可能になるよう検討しています。

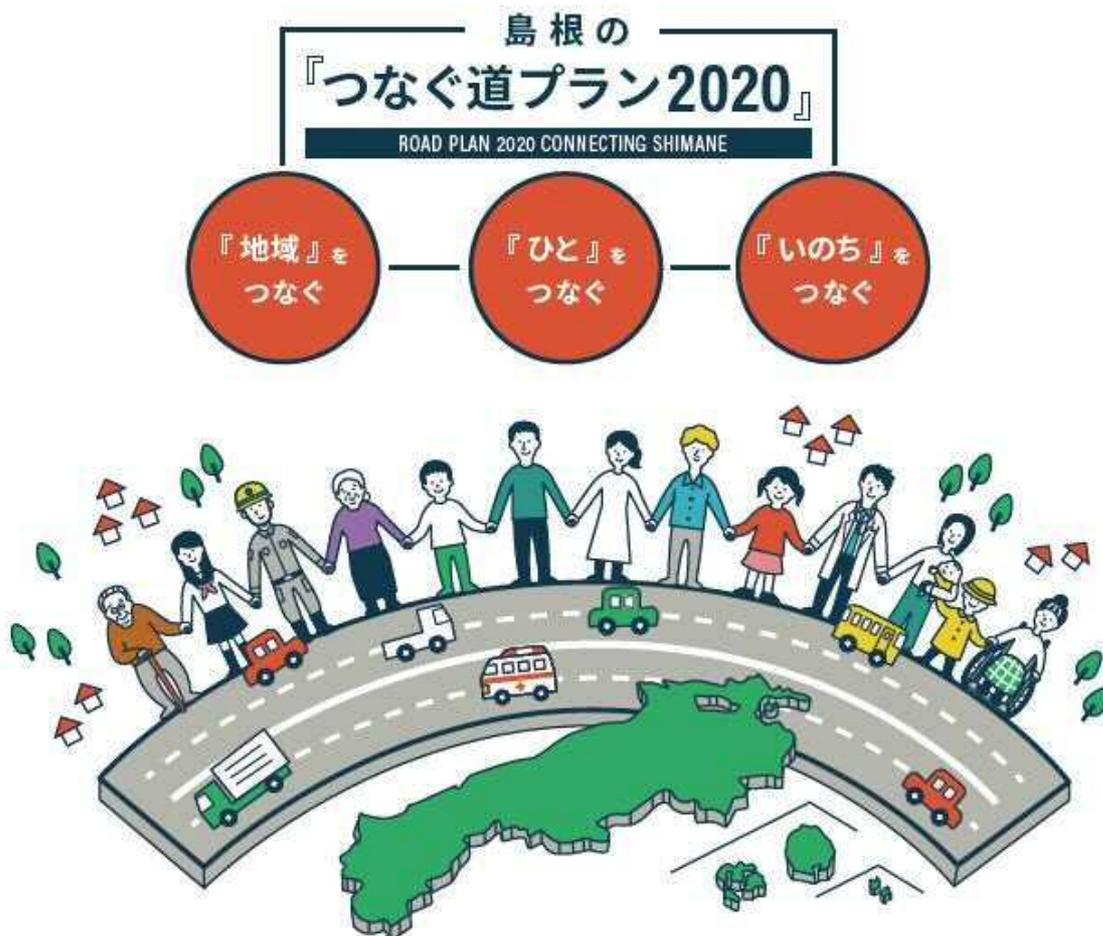
プラン全編については、島根県道路建設課のホームページにて公表しているほか、製本版も用意しておりますので、ご希望の方は、道路建設課企画調査グループまでご連絡ください。

また、プランの内容につきまして、必要に応じ説明の場も設けさせていただければと思っております。勉強会など研修・広報の機会がございましたら、ぜひご相談ください。

しまね 道プラン



<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/road/keikaku/keikaku/douroseibi/michiplan2020.html>



一般県道波佐匹見線（匹見工区）が開通しました！

一般県道波佐匹見線は浜田市金城町波佐と益田市匹見町匹見を結ぶ道路です。本工区は国道488号と国道191号からの交通を結ぶ要所であり、また匹見地域の中心部に位置し観光や通勤路として重要な路線となっています。しかし屈曲部で見通しが悪く路肩も狭いため歩行者との接触など通行上の危険性が問題となっていました。そうした中、歩行者・自動車の安全性向上を目的に、平成28年度より事業に着手し、この度完成しました。

【事業概要】

右図の赤丸箇所は屈曲箇所となっており、通行車両及び歩行者の安全が確保されていない状況でした。その状況を解消するために、赤点線箇所にバイパス道路を施工しました。また、新たに交差点となる青丸箇所には、匹見峡温泉側から来る車に対しての右折レーンを設置し、円滑な交通を確保しました。



【事業概要】
 箇所：益田市匹見町匹見地内
 延長：(一)波佐匹見線 L=218m
 国道488号 L=220m
 事業期間：H28～R2
 道路規格：第3種第4級
 設計速度：(一)波佐匹見線 30km/h
 国道488号 40km/h
 幅員構成：7.0m
 (車道 5.5m 路肩部 1.5m)

【事業実施状況】

★屈曲部の解消

【改良前】



歩行者は屈曲箇所の狭い路肩を通行する必要がありました

【改良後】



バイパス区間を設け、屈曲箇所を解消しました



交差点内に横断歩道を設置することで歩行者の安全な通行を確保しました



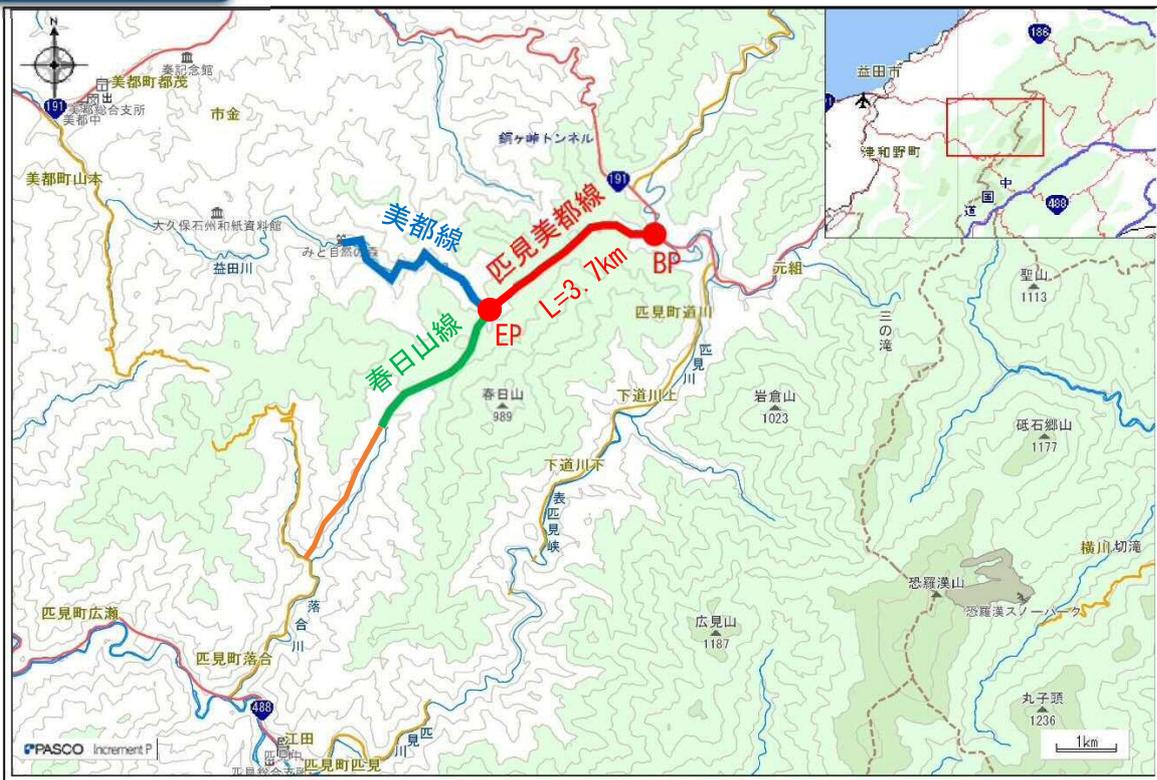
・広域基幹林道「匹見美都線」の工事着手

本路線は、林野庁が昭和48年に策定した「大規模林業圏開発基本計画」を基に、長期的・総合的な地域開発を目的として、大規模林業圏開発林道事業の中国山地公団幹線・支線林道山陰ルート「波佐・阿武線」の「匹見・美都区間」として計画された林道です。

この事業は、森林開発公団（後の独立行政法人緑資源機構）が事業主体となり各区間の整備を進めてきましたが、平成19年に緑資源機構が廃止されたことに伴い、平成20年度からは島根県が事業を引継ぎ、広域基幹林道整備事業として各区間を整備することになりました。

その中の一部である匹見・美都区間は、路線名を「匹見美都線」として、平成26年度より事業着手し、測量・設計及び各種調整を経て令和元年度より路線起点となる益田市匹見町道川地内の橋梁工事に着手しました。

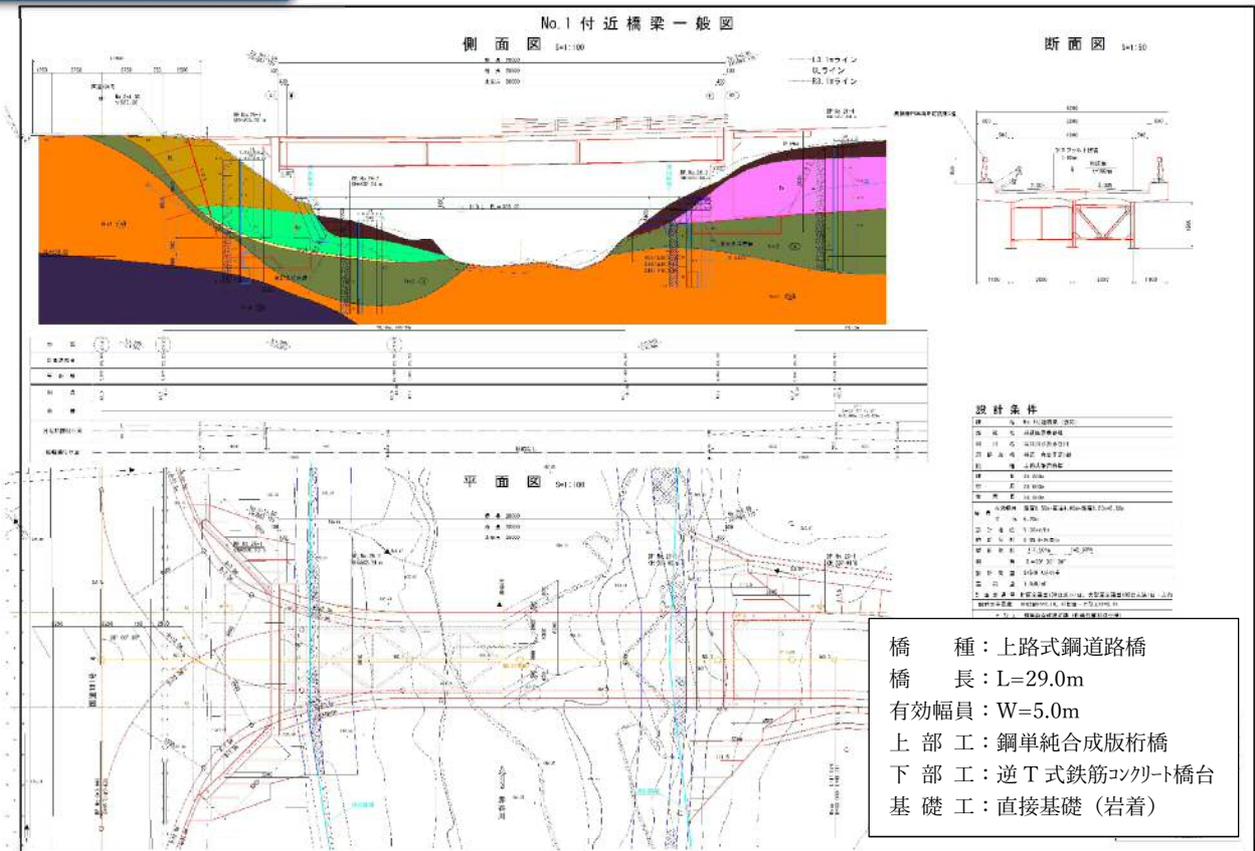
【位置図】



匹見美都線は、益田市匹見町道川地内と同市美都町都茂地内を結ぶ延長 $L=3.7\text{km}$ 、幅員 $W=5.0\text{m}$ の道路です。

また、匹見美都線の接続道路である林道春日山線と、支線として計画されている林道美都線が同時採択され、適切な森林整備の推進と地域環境の改善等のために3路線を並行して一体的な整備を進めています。

【 橋梁一般図 】



(現在行っている工事の紹介)

国道 191 号に接続する起点箇所の橋梁工事より着手し、令和元年度に起点側の A1 橋台を施工しており、令和 2 年度工事で対岸の A2 橋台と上部工を順次施工する予定です。

橋梁工事の期間は 3 カ年を予定しており、令和 3 年度末の完了を目指し進めています。

【 写真 】

○起点付近 (令和 2 年 7 月撮影)



○左岸橋梁下部工 (令和 2 年 7 月撮影)



大規模林業圏開発林道事業で進められてきた県内各路線も、匹見美都線の着工により全路線・全区間の着工が実現しました。

路線開通の効果も大いに期待されていますが、県内大規模林道の全線開通により、周辺森林の林業活動はもとより周辺市町の広域的な物流等、地域振興に大きく寄与するものと考えます。

県内で最後に着手した大規模林道「匹見美都線」の早期開通に向けて今後も取り組んでいきます。

道路交通情報 Now!!が新しくなります。

(公財)日本道路交通情報センターでは、道路を安全で円滑に走行いただくためにHP上に道路交通情報提供画面(道路交通情報 Now!!)を開設していますが、**本年10月20日からシステムをリニューアルしました。**より便利に分かりやすい表示に変更しますのでご紹介します。お車を運転される際は是非ご活用ください。

URL : <https://www.jartic.or.jp/>

【新たなシステムの概要】

- 1 道路交通情報の提供は、従来の簡易図形からデジタル道路地図を使って高速道路を含む全ての道路を三段階(ズームレベル 10, 12, 14)で表示します。なお、高速道路及び都市高速道路については簡易図形も併用します。

【現行】



【新】

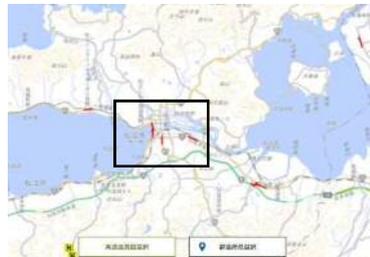


【ズームレベル】

(ズームレベル 10)



(ズームレベル 12)



(ズームレベル 14)



- 2 「道路交通情報 Now!!」と「災害時情報提供サービス」を1つのサイトに統合し、利便性の向上を図ります。
- 3 モバイル端末でもより見やすく閲覧できるようになります。
- 4 新たにポップアップ表示に“渋滞情報”を追加します。

【渋滞情報 (ポップアップによる表示)】



山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会2020

つなげよう！全県民の願い 山陰道

山陰道（安来～益田）の沿線市等で組織する山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会主催の「山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会’20」が、9月26日（土）に大田市（サンレディ大田）で開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策として、例年より規模を縮小した大会となりましたが、舞立参院議員や三浦参議院議員、丸山知事をはじめとした来賓及び一般参加者約250人が、山陰道の早期整備を強力に進めるため一致団結しました。

冒頭、主催者である同盟会会長の楳野大田市長が「少子高齢化と人口減少が進む本県において、観光産業は地域経済を支える柱であり、コロナ収束後の経済のV字回復のためには、山陰道が繋がら、県東西の移動が活発化される必要がある」と山陰道の早期整備の必要性を訴えられました。

続いて行われた基調講演では、国立情報学研究所の相原健郎准教授が『人を動かす「期待」と「つながり」』と題し、人は期待とつながりで動き、地域活性化にはストーリーとつながりで線や面を構成すること、そのためには地域へのアクセス性が鍵であることをご説明いただきました。

また、意見発表では、有限会社旭養鶏舎の竹下靖洋社長から、企業にとっての山陰道の必要性や早期整備の願いを直接聞くことができました。

大会最後には、同盟会副会長である山下江津市長が読み上げた決議文が採択され、同じく同盟会副会長の山本益田市長が、山陰道全線開通に向けて「がんばろう」を三唱し大会を締めくくりました。



記

1. 高速道路ネットワークの構築は、国が国民に等しく保障すべき基本的サービスであるとの基本に立ち、整備の遅れに強い危機感を持つ地方の声に応え、全国のミッシングリンクの解消に必要となる予算の総額を確保し、山陰道を早期に全線開通させること。
2. 現在事業中である「出雲・湖陵道路」、「湖陵・多伎道路」、「大田・静間道路」、「静間・仁摩道路」、「福光・浅利道路」、「三隅・益田道路」、「益田道路」、「益田西道路」について、着実に事業を推進し、1日も早い完成を目指すこと。
3. 高速道路本来の効果を発揮できるよう、未事業化区間の早期事業化を図ること。特に「益田～萩間」は、優先区間の「小浜～田万川間」について、速やかに「計画段階評価」を終えて早期事業化を図ること。
4. 長期的・安定的な道路整備・管理の促進のため、新たな道路財源を創設するとともに、防災・減災・国土強靱化のための予算を継続的に確保し、整備の遅れている地域へ重点的に配分すること。

以上決議する。

令和2年9月26日

山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会

(決議文)



(講演: 相原氏)



(意見発表: 竹下氏)



(がんばろう三唱)

道路愛護等に努めた方々が表彰されました

8月20日、県庁講堂において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体又は個人に対する国土交通大臣表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。

～国土交通大臣表彰～

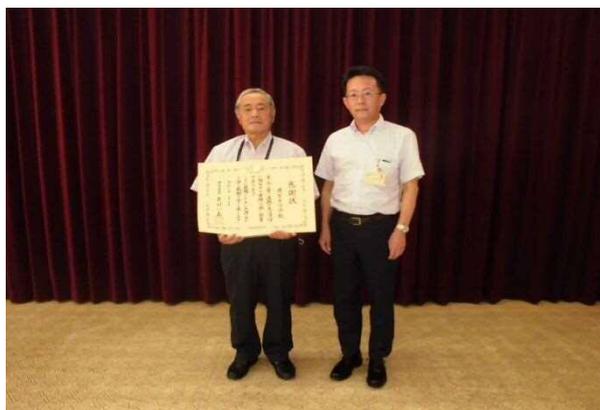
国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは3団体が表彰されました。



丸山知事と記念撮影をされる代表者の方々。
左から：知事、一八四クラブ(飯南町)



左から：知事、大芦道路愛護クラブ(松江市)



大賀所長(浜田県土整備事務所)と記念撮影をされる代表者の方。

左から：鹿賀自治会(江津市)、大賀所長

※表彰式欠席のため後日管轄事務所 所長より表彰

◇受賞の皆様

鹿賀自治会（江津市）

平成17年から長年にわたり継続して活動を行っておられます。事故防止のため作業前ミーティングの実施及び専任の見回り監視を設置するなど最新の注意を払いながら、安全かつ確実に作業を実施し、環境整備に大きく貢献しておられます。

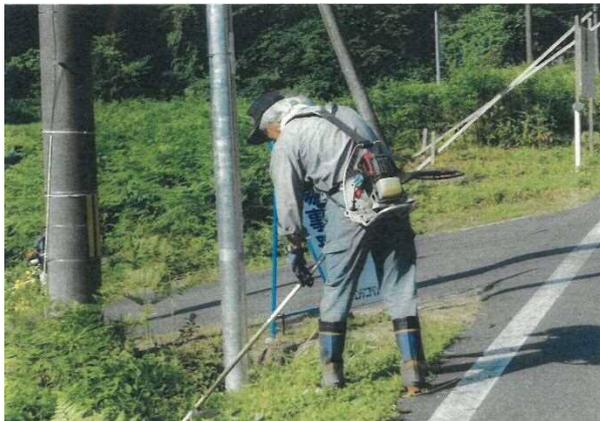
- 作業人員：19人
- 作業延長：4.3km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：15年
- 作業路線：一般県道 日貴川本線



一八四クラブ（飯南町）

平成18年から活動を初め現在に至るまで年2回の活動を継続的に行っておられます。作業延長が長いため1回の活動は約3日～5日かけて実施されています。「自らの力で管理をし、安全で利用しやすい道路を維持する。」という郷土愛で環境美化に大きく貢献しておられます。

- 作業人員：約10～15人
- 作業延長：約12.3km
- 年間作業日数：年2回 約8日
- 従事年数：14年
- 作業路線：国道184号



大芦道路愛護クラブ（松江市）

地域の美化をはかるために活動をしておられます。活動範囲が小学校の通学路でもあり、地域の環境美化だけでなく安全確保にも大きく貢献しておられます。

- 作業人員：20人
- 作業延長：1km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：13年
- 作業路線：主要地方道 松江島根線



～島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた10団体が表彰されました。

◇受賞の皆様

●一の会（津和野町） ※表彰式は欠席

長い区間の草刈を長年に渡り実施されており、近隣自治会で構成される美化活動にも参加し、県道沿いの植樹管理を行うなど地域の環境整備に大いに貢献しておられます。

●西地合町自治会（出雲市）

昭和の時代から活動しており長年に渡る活動のため、住民の参加意識も強く、地域一体となって地区全体の美化に努めておられます。

●谷自治会（江津市）

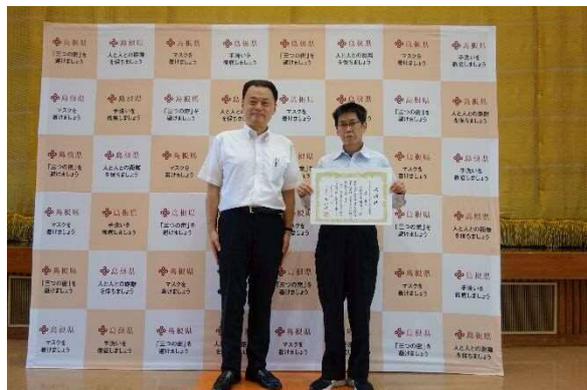
長年にわたり美化活動及び草刈活動を自治会一丸となって熱心に取り組んでおられます。沿線の耕作放棄地を自治会が独自に借り上げ草刈を行うなど地域の環境整備にも大いに貢献しておられます。

●上市常会（奥出雲町）

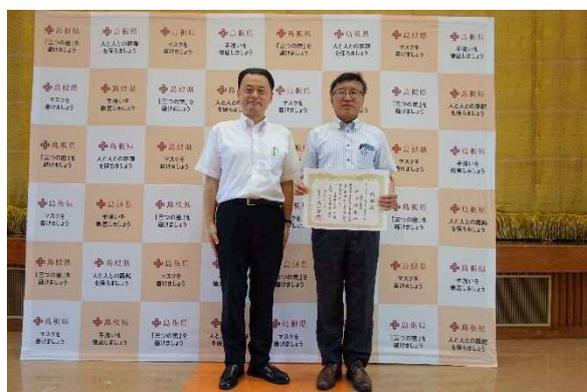
主要地方道 玉湯吾妻山線は松江市から奥出雲町に通じる主要幹線道路であり通行量も多く、伸びる草木は交通の支障をきたすことが多い所です。長年にわたり熱心に活動に取り組んでおられます。

●一畑北友会（出雲市）

昭和53年に第一回一畑薬師マラソンに併せて発足。地元住民に若い人が少なくなり高齢化が進むなかで会員が一丸となって活動を行っており、マラソン参加のため全国から来られる皆さんや地域の環境整備に大いに貢献しておられます。



左から：知事、西地合町自治会



左から：知事、谷自治会



左から：知事、上市常会



左から：知事、一畑北友会

●小屋原道路愛護団（大田市）

平成 17 年に愛護団体に認定されて以来、地域の地域環境の維持向上を目的に 10 年以上継続して熱心に取り組んでおられ、地域の環境整備に大いに貢献しておられます。

●池田区（隠岐の島町） ※表彰式は欠席

地域の環境美化と整備のため、花壇の美化、沿道草刈を 10 年以上継続して熱心に取り組んでおり地域の環境整備に大いに貢献しておられます。



左から：知事、小屋原道路愛護団

●野井区（松江市）

平成 20 年より草刈や清掃などの活動を継続して行っており、地域の美化に大いに貢献するとともに、県道は草に覆われると復員が狭いため、草刈により夏季の来町者の交通安全対策になっており、県道の安心、安全を担う活動をしておられます。



左から：知事、野井区

●中野下谷自治会（雲南市）

中野地区の玄関口として気持ちよく来ていただき、また車両が安全に通行できるようにと取り組んでおられます。主要地方道 出雲奥出雲線、一般県道 掛合大東線の 2 路線を長きにわたり行い、地域の環境保全に大いに貢献しておられます。



左から：知事、中野下谷自治会

●三島寿会（川本町） ※表彰式は欠席

平成 17 年に愛護団体に認定されて以来、14 年間継続して活動を行っており、また活動範囲が川本中学校の通学路にもなっており、子供達が綺麗な歩道を登下校できるよう美化活動を積極的に行い、地域の環境整備に大いに貢献しておられます。